



平成 20 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ジョイント・コーポレーション  
代表者名 代表取締役社長執行役員 東海林 義信  
(コード番号 8874 東証第1部)  
問合せ先 取締役執行役員 グループ広報・IR 部担当 織部 壽  
(TEL:03 - 5759 - 8874)

### 平成 21 年 3 月期業績予想(連結・個別)及び配当予想の修正 並びに役員報酬の減額等に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 9 月 8 日開催の取締役会において、平成 20 年 5 月 14 日に公表した平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)及び通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想(連結・個別)と配当予想の修正、並びに、役員報酬の減額及び役員賞与の不支給を決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間・通期業績予想(連結・個別)の修正について

##### (1)平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間・通期業績予想(連結・個別)修正

##### [連結業績予想]

平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	59,800	4,600	2,500	1,500
今回修正予想(B)	68,200	24,200	26,000	28,500
増減額(B - A)	8,400	28,800	28,500	30,000
増減率(%)	14.0			
(ご参考) 前年同期実績(平成 19 年 9 月中間期)	87,374	16,425	14,357	8,331

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	172,900	13,900	10,000	5,800
今回修正予想(B)	145,500	23,600	27,500	32,000
増減額(B - A)	27,400	37,500	37,500	37,800
増減率(%)	15.8			
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	187,785	27,555	23,060	9,112

[個別業績予想]

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	32,700	2,800	1,200	700
今回修正予想(B)	45,100	18,000	19,700	20,900
増減額(B - A)	12,400	20,800	20,900	21,600
増減率(%)	37.9			
(ご参考) 前年同期実績(平成 19 年 9 月中間期)	32,038	5,494	4,274	2,508

平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	110,000	7,900	4,800	2,800
今回修正予想(B)	89,100	18,600	21,900	24,200
増減額(B - A)	20,900	26,500	26,700	27,000
増減率(%)	19.0			
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	99,709	12,649	9,722	2,830

## (2)修正の理由

### < 連結業績予想 >

当社が事業を展開しております不動産業界におきましては、地価、建築費の高騰により事業の収益性が悪化する一方、急激な信用収縮も重なり、不動産の流動性は急速に低下してきております。このような状況下、不動産市況は今後しばらく厳しい状況が続くと考えております。

当社におきましても、不動産市況の想定以上の急速な悪化を棚卸資産の評価に反映した結果、評価損を188億円、また金融子会社における不動産に特化した営業貸付金の貸倒引当金を35億円計上する見込みとなりました。

さらに、販売不振による売上高の減少や、利益率の低下等により、誠に遺憾ながら、平成21年3月期第2四半期連結累計期間の連結営業損失は242億円、連結経常損失は260億円、連結当期純損失は285億円、また平成21年3月期通期の連結営業損失は236億円、連結経常損失は275億円、連結当期純損失は320億円となる見込みです。

### < 個別業績予想 >

連結業績予想の修正の理由に記載のとおり、棚卸資産の評価損を129億円計上する見込みとなりました。

その結果、誠に遺憾ながら、平成21年3月期第2四半期累計期間の営業損失は180億円、経常損失は197億円、当期純損失は209億円、また平成21年3月期通期の営業損失は186億円、経常損失は219億円、当期純損失は242億円となる見込みです。

## 2.平成21年3月期中間および通期配当予想

### (1)修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としてまいりました。

しかしながら、既述の通り、棚卸資産の評価損及び金融子会社における不動産に特化した営業貸付金の貸倒引当金の計上を行った結果、平成21年3月期第2四半期連結累計期間の連結当期純損失が285億円に、また、平成21年3月期通期の連結当期純損失が320億円となる見込みですので、誠に遺憾ながら平成21年3月期中間及び期末の配当を無配とさせていただく見込みです。

### (2)修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間	期末	年間
前回予想 (平成20年5月14日発表)	15.00	15.00	30.00
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
前期(平成20年3月期)実績	15.00	15.00	30.00

### 3. 役員報酬の減額について

平成 21 年 3 月期業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確化するために、以下の通り、当社役員報酬の減額及び返上を実施いたします。

#### (1) 取締役報酬減額の内容

代表取締役	月額報酬の 30%を減額
取締役(常勤)	月額報酬の 10～20%を減額

#### (2) 監査役報酬自主返上の内容

常勤監査役	月額報酬の 5%を返上
-------	-------------

#### (3) 上記(1)、(2)の対象期間

平成 20 年 9 月から平成 21 年 8 月まで(12 ヶ月間)

### 4. 役員賞与の全額不支給

平成 20 年 3 月期の業績にかかる当社の役員賞与 125 百万円につきましては、全額不支給といたします。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上